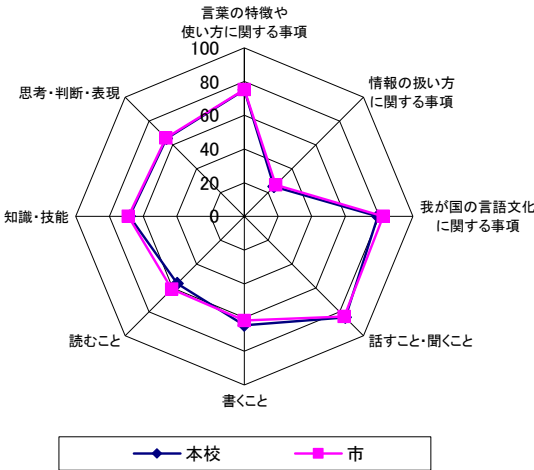


宇都宮市立東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	75.0	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	25.0	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	79.2	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	84.7	83.9	84.2
	書くこと	64.6	61.7	64.5
	読むこと	56.3	60.9	61.0
観点別	知識・技能	68.2	68.8	70.3
	思考・判断・表現	65.3	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は75.0%であり、市の平均とほぼ同程度である。 ○6年生に配当されている漢字を読む問題では、正答率が100%である。 ●5年生に配当されている漢字を書く問題では、全ての設問で市の平均を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字を読む力が身に付いてきている。これは、漢字ドリルやAドリルを最大限に活用し、漢字の読みを定着させてきた効果の表れである。 ・漢字の書きにおいては、今後も繰り返し練習するだけでなく、熟語を調べたり、漢字を活用したりする学習を行い、漢字を日常生活で使えるようにしていく。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は25%であり、市の平均を1.5ポイント下回っている。 ●複数ある文章や資料を関連付けて、情報と情報との関係について読解する設問において課題が見られる。	・これまでも国語の学習では、文章と文章を関連付けて読んだり、比べながら読んだりする学習を行ってきた。今後は、比べながら文章を読む際に、内容の大体をつかむだけでなく、共通していることは何か、違っている点は何かに着目しながら読めるようにしていく。さらに、常に「線を引く」「印を付ける」などの工夫をしながら読解していくことを日常的に指導していく。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は79.2%であり、市の平均を3.2ポイント下回っている。 ●和語、漢語、外来語についての設問において、課題が見られる。	・今後は、中学年で学習してきている訓読みや音読みなどの既習事項をしっかり復習していくとともに、語句の由来に関心をもたせるようにしていく。また、授業中や学校生活場面で、カタカナで書くべき言葉なのか、そうではないのかなど、曖昧になっている言葉を取り上げ、和語、漢語、外来語が理解できるようにしていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は84.7%であり、市の平均とほぼ同程度である。 ○インタビューの内容を聞き取り、話の内容の大体を捉えることができています。	・今まで、話の中心は何か、話者が伝えたいことは何かを聞く指導をしてきたことの表れである。今後も話し手の伝えたいことは何かをしっかりと捉えさせるとともに、話の構成、どんな事例を挙げてるか、また、キーワードを一言で言わせるなど、工夫して学習を進めていく。
書くこと	平均正答率は64.6%であり、市の平均を2.9ポイント上回っている。 ○文章を書く課題においては、指定された長さで書く、段落構成を考えて書く、自分の意見とその理由を明確にし書くなどの条件に沿って書くことは市の平均を上回っている。	・今後も、文章をただ書かせるのではなく、「文章の長さ」「段落構成」「事実と意見」など条件を入れて書く学習活動を設定していく。学校行事等のふりかえりなどで取り入れることにより、子供たちの意欲を高めながら指導することで、楽しみながら書く力を養っていく。
読むこと	平均正答率は56.3%であり、市の平均を4.6ポイント下回っている。 ●物語や説明的な文章の全ての問題において、市の平均を下回り、課題が見られる。	・説明的な文章において、正確に読み取る力を身に付けさせるために、正確に音読できるよう指導に力を入れる。また、教材文の内容理解だけでなく、文章の書かれ方(構造・構成や事例の取り上げ方など)にも目を向けた指導をすることによって、初めて読む教材でも、筆者の主張が読み取れるように指導していく。物語文においては、様々な解釈を語り合うような学習活動を設定することにより、読む楽しさを味わわせていく。